

機関番号：13301

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19K07965

研究課題名（和文）膜障害に焦点を当てた高分子A オリゴマーの毒性機序に関する検討

研究課題名（英文）Study on the toxic mechanism of high-molecular A-beta oligomers focusing on membrane damage

研究代表者

小野 賢二郎 (Ono, Kenjiro)

金沢大学・医学系・教授

研究者番号：70377381

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：我々は、A β のプロトフィブリル（PF）が、1)細胞膜上での酸化ストレスを増強させる、2)脱分極誘発Ca $^{2+}$ 流入を促進する、3)膜の脱分極を引き起こすなどの膜障害を介して細胞毒性だけでなく、シナプス毒性を発揮することを明らかにした。また、フェノール化合物の一種であるミリセチンが上述のPFによる膜障害を軽減させることで細胞毒性を低下させることだけでなく、ミリセチンがミトコンドリア内酸化ストレスも軽減させることを明らかにした。高速原子間力顕微鏡を用いて、PFはA β モノマーの凝集やシートへの構造変換を促進させることを発見した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

アルツハイマー病の疾患修飾療法は長らく失敗が続いていたが、A β プロトフィブリル（PF）を標的にした抗A β 抗体であるレカネマブは、有意な臨床効果を認めた第3相臨床試験の結果を受け、2023年1月にFDAにより迅速承認され、本邦でも同年9月にPMDAにて承認され、12月に臨床現場の使用が可能となった。PFの毒性機序やA β 凝集動態への影響を明らかにした本研究の成果は、レカネマブの作用機序解明や今後の新たな抗A β 療法の開発に向け、有意義な結果であると思われる。

研究成果の概要（英文）：A β protofibril (PF) exerts not only cytotoxicity but also synaptic toxicity via membrane damage, 1) oxidative stress, 2) depolarization-induced Ca $^{2+}$ influx, and 3) membrane depolarization. Myricetin reduces cytotoxicity by not only decreasing membrane damage but also intramitochondrial oxidative stress by PF.

Using high-speed atomic force microscopy, we discovered that PF promotes the aggregation of A β .

研究分野：脳神経内科学、神経病態学

キーワード：アルツハイマー病 オリゴマー

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

アミロイドβ蛋白 (amyloid β-protein: Aβ) の凝集は、アルツハイマー病 (AD) (Alzheimer's disease: AD) の病態に深く関わっているが、特に老人斑として蓄積する凝集最終段階である成熟線維より中間凝集体であるオリゴマーやプロトフィブリルの毒性に注目が集まっている (オリゴマー仮説)。しかし、その機序に関してはまだ不明瞭な点が多い。

2. 研究の目的

ADの病理学的特徴は、老人斑 (Aβ)、神経原線維変化 (tau)、神経細胞死であり、Aβ凝集が、tau凝集と共にADの発症機序に深く関与すると考えられている (アミロイド仮説)。Aβが凝集してAβ線維が形成されていく過程は、重合核依存性重合モデルに従うとされている。近年、最終段階である幅約10 nmのAβ線維より、早期の凝集段階であるオリゴマーや幅約5 nmのプロトフィブリル (protofibril: PF)の方がより毒性が強いとされており、臨床第三相試験や承認まで至っている疾患修飾療法の薬剤のいくつかはAβオリゴマーをターゲットにしている (オリゴマー仮説) が、機序に関しては不明な点が多い。

本研究は、これまで20年間にわたり積み上げてきた試験管内アミロイド研究モデル (オリゴマー研究モデルを含む)、原子間力顕微鏡 (研究協力者 金沢大学 中山隆宏博士)、細胞毒性 (研究協力者 昭和大学 辻まゆみ博士)、シナプス毒性 (研究協力者 富山大学 西条寿夫博士)、ヒト iPS 細胞の毒性 (研究協力者 京都大学 井上治久博士) を融合させ、現在の Aβ 等の病態蛋白凝集の未解決の最重要課題である、オリゴマーの毒性とその機序の一端を明らかにすることで、ADの病態解明と新たな疾患修飾療法開発につなげようとするものである。

3. 研究の方法

1. Aβサンプルの準備

試料の準備として、サイズ排除クロマトグラフィー (Superdex 75HR) を用いて新鮮な Aβ42 溶液 (DMSO 溶解) をインジェクトし、不溶画分である成熟線維 (mature fibril: MF) をのぞき、主にモノマーである低分子 Aβ と高分子オリゴマーである PF を抽出する。

2. 低分子 Aβ と Aβ PF の細胞毒性の検討

低分子 Aβ、PF、成熟線維 (Mature fibrils: MF) の細胞毒性の検討を SH-SY5Y 細胞を用いて行う [3-[4,5-dimethylthiazol-2-yl]-2,5-diphenyltetrazolium bromide (MTT) 法及び Lactate Dehydrogenase (LDH) 活性、Calcein 染色と蛍光顕微鏡の観察]。京都大学の井上博士と協力してヒト健常者由来の iPS 細胞を用いて WST assay でも毒性を比較検討する。

3. Aβ の細胞毒性メカニズムの検討

各凝集体の神経細胞毒性機序を探るために、酸化ストレスマーカーである reactive oxygen species (ROS)、膜脂質過酸 (diphenyl-1-pyrenylphosphine: DPPP) 化を測定して、各凝集体による酸化ストレスと細胞膜傷害作用の関連を顕微鏡観察も含めて調べる。

4. Aβ による細胞内 Ca²⁺ レベル動態の検討

SH-SY5Y 細胞と各凝集体を30分間インキュベート後、Ca²⁺インジケータを添加し、37°C、

1時間インキュベートする。その後、Meta Xpress Image Acquisitionにて、80mM KCl処置による細胞内Ca²⁺の増加をEx485 nm, Em 525 nmで観察する。

5. Aβによる受動的膜特性への影響の検討

SH-SY5Y 細胞に各凝集体を30分間インキュベートし、パッチクランプ法による過分極および脱分極電流パルスに対する応答の膜抵抗、膜電位の変化を比較検討する。

6. Aβによる膜流動性の検討

SH-SY5Y 細胞に各凝集体を30分間インキュベートし、Membrane Fluidity Kitにて蛍光標識後の膜流動性の増加をEx 450-470 nm, Em 360 nmで観察し、蛍光比を定量的に比較検討する。

7. Aβのシナプス毒性（可塑性）の検討

富山大学の西条博士と協力してマウスの海馬スライスを用いて興奮性シナプス後電位（fEPSP）を記録し、long-term potentiation (LTP)を測定することにより、各凝集体のシナプス毒性に関して検討する。

8. フェノール化合物によるAβ PF毒性軽減効果の検討

SH-SY5Y細胞を用いたMTT法にてcell viabilityを測定する。また、フェノール化合物によるPF毒性の軽減機序を調べるため、PFにフェノール化合物の一種であるミリセチン添加後のROS、DPPPの変化を測定する。さらにMembrane Fluidity KitにてPFによる膜流動性低下に対するミリセチンの影響やmitochondrial membrane permeability transition (MPT)を測定することで、ミトコンドリアへの影響も検討する。

9. Aβのシーディング効果の検討

Aβ凝集に対するPFの線維形成促進効果（シーディング効果）をHS-AFMにて検討する。チオフラビン T を使った分光蛍光定量法を用いて経時的にAβ凝集過程を評価し、円二色性スペクトル解析にてAβ構造解析、高速原子間力顕微鏡（high speed atomic force microscopy: HS-AFM）を用いてリアルタイムでのAβ凝集動態に及ぼす影響を観察した。

4. 研究成果

1. Aβサンプルの準備

サイズ排除クロマトグラフィーを用いて新鮮なAβ₄₂溶液をインジェクトし、主にモノマーである低分子AβとPFを抽出することに成功し、電子顕微鏡を用いて形態を確認した。

2. 低分子AβとAβ PFの細胞毒性の検討

SH-SY5Y 細胞を用いて行い、MTT、LDH活性法、Calcein and ethidium homodimer-1にて低分子AβよりPFの毒性が強いことが分かった。ヒト健常者由来のiPS細胞を用いたWST法においても低分子AβよりPFの毒性が強いことが分かった。

3. Aβの細胞毒性メカニズムの検討

酸化ストレスマーカーであるROS、DPPPマーカーともにPFの方が低分子Aβより強いことが分かった。

4. Aβの細胞内Ca²⁺レベル動態の検討

SH-SY5Y 細胞を用いて細胞内Ca²⁺レベル動態を調べた結果、PFは低分子Aβより脱分極誘発Ca²⁺流入を促進した。この流入は、l-type calcium channel antagonistであるニカルジピンやN-methyl d-aspartate (NMDA) receptor antagonistであるメマンチンを投与すると抑

制された。このことからPFは、l-type calcium channel やNMDA receptor を介してCa²⁺流入を引き起こすことが示唆された。

5. Aβによる受動的膜特性への影響の検討

SH-SY5Y 細胞に低分子AβとPFを一定時間インキュベートし、パッチクランプ法による過分極および脱分極電流パルスに対する応答の膜抵抗、膜電位の変化を比較検討した結果、PFが低分子Aβより有意に膜抵抗を減少させる一方で、静止膜電位を上昇させ、脱分極を引き起こすことを明らかにした。

6. Aβによる膜流動性の検討

蛍光標識後の膜流動性を検討した結果、PFは低分子Aβより有意に膜流動性を低下させることを発見した。

7. Aβのシナプス毒性（可塑性）の検討

マウスの海馬スライスを用いてLTPを測定し、PFの方が低分子AβよりLTPを有意に抑制することよりシナプス毒性が強いことが分かった。

8. フェノール化合物によるAβ PF毒性軽減効果の検討

SH-SY5Y細胞を用いたMTT法にて、ミリセチンがPFの細胞毒性を軽減させること、PFによる膜上でのROS、DPPPマーカーの上昇を低下させることだけでなく、PFの膜流動性低下も抑制させることを明らかにした。合わせて、MPT測定にて、ミリセチンがPFによるMPTの低下を軽減させることを明らかにし、位相差顕微鏡および蛍光顕微鏡でも確認した。

9. Aβのシーディング効果の検討

PFはAβモノマーの凝集やβシートへの構造変換を促進させることを発見し、HS-AFMによる解析の結果、PF自体の線維形成は見られない一方、PFの表面でAβモノマーからの線維形成が促進されていることを観察した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計80件（うち査読付論文 66件／うち国際共著 12件／うちオープンアクセス 41件）

1. 著者名 Ito Naohito, Tsuji Mayumi, Adachi Naoki, Nakamura Shiro, Sarkar Avijite Kumer, Ikenaka Kensuke, Aguirre Cesar, Kimura Atsushi Michael, Kiuchi Yuji, Mochizuki Hideki, Teplow David B., Ono Kenjiro	4. 巻 9
2. 論文標題 Extracellular high molecular weight α -synuclein oligomers induce cell death by disrupting the plasma membrane	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 npj Parkinson's Disease	6. 最初と最後の頁 139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41531-023-00583-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Kainuma Mosaburo, Kawakatsu Shinobu, Kim Jun-Dal, 、 、 Ono Kenjiro, Tsuboi Yoshio	4. 巻 14
2. 論文標題 Metabolic changes in the plasma of mild Alzheimer's disease patients treated with Hachimijiogan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 1203349
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2023.1203349	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Murakami Hidetomo, Tokuda Takahiko, El-Agnaf Omar M.A., Ohmichi Takuma, Mori Yukiko, Asano Miki, Kanemoto Mizuki, Baba Yasuhiko, Tsukie Tamao, Ikeuchi Takeshi, Ono Kenjiro	4. 巻 452
2. 論文標題 IgG index of cerebrospinal fluid can reflect pathophysiology associated with Lewy bodies in Parkinson's disease	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of the Neurological Sciences	6. 最初と最後の頁 120760 ~ 120760
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2023.120760	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Noguchi-Shinohara Moeko, Murakami Hidetomo, Sakashita Yasuhiro, Mori Yukiko, Komatsu Junji, Muramatsu Daiki, Hikishima Sadao, Ono Kenjiro	4. 巻 111
2. 論文標題 Plasma amyloid- β biomarkers are associated with Alzheimer's disease comorbidity in Lewy body disease	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Parkinsonism & Related Disorders	6. 最初と最後の頁 105445 ~ 105445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parkreldis.2023.105445	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe-Nakayama Takahiro, Tsuji Mayumi, Umeda Kenichi, Oguchi Tatsunori, Konno Hiroki, Noguchi-Shinohara Moeko, Kiuchi Yuji, Kodera Noriyuki, Teplow David B., Ono Kenjiro	4. 巻 23
2. 論文標題 Structural Dynamics of Amyloid- Protofibrils and Actions of Anti-Amyloid- Antibodies as Observed by High-Speed Atomic Force Microscopy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nano Letters	6. 最初と最後の頁 6259 ~ 6268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.nanolett.3c00187	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Noguchi-Shinohara Moeko, Ono Kenjiro	4. 巻 24
2. 論文標題 The Mechanisms of the Roles of -Synuclein, Amyloid- , and Tau Protein in the Lewy Body Diseases: Pathogenesis, Early Detection, and Therapeutics	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 10215 ~ 10215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms241210215	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Momma Y, Tsuji M, Oguchi T, Ohashi H, Nohara T, Ito N, Yamamoto K, Nagata M, Kimura AM, Nakamura S, Kiuchi Y, Ono K.	4. 巻 24
2. 論文標題 The Curcumin Derivative GT863 Protects Cell Membranes in Cytotoxicity by A Oligomers	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 3089 ~ 3089
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms24043089	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikeuchi T, Kanda M, Kitamura H, Morikawa F, Toru S, Nishimura C, Kasuga K, Tokutake T, Takahashi T, Kuroha Y, Miyazawa N, Tanaka S, Utsumi K, Ono K, Yano S, Hamano T, Naruse S, Yajima R, Kawashima N, Kaneko C, Tachibana H, Yano Y, Kato Y, Toue S, Jinzu H, Kitamura A, Yokoyama Y, Kaneko E, Yamakado M, Nagao K.	4. 巻 9
2. 論文標題 Decreased circulating branched-chain amino acids are associated with development of Alzheimer ' s disease in elderly individuals with mild cognitive impairment	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Nutrition	6. 最初と最後の頁 1040476
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnut.2022.1040476	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kainuma M, Ouma S, Kawakatsu S, Iritani O, Yamashita KI, Ohara T, Hirano S, Suda S, Hamano T, Hieda S, Yasui M, Yoshiiwa A, Shiota S, Hironishi M, Wada-Isoe K, Sasabayashi D, Yamasaki S, Murata M, Funakoshi K, Hayashi K, Shirafuji N, Sasaki H, Kajimoto Y, Mori Y, Suzuki M, Ito H, Ono K, Tsuboi Y.	4. 巻 13
2. 論文標題 An exploratory, open-label, randomized, multicenter trial of hachimijogan for mild Alzheimer's disease	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 991982
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2022.991982	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami K, Ono K.	4. 巻 36
2. 論文標題 Interactions of amyloid coaggregates with biomolecules and its relevance to neurodegeneration	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 e22493
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.202200235R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hamaguchi T, Ono K, Yamada M.	4. 巻 47
2. 論文標題 Transmission of Cerebral β -Amyloidosis Among Individuals	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurochemical Research	6. 最初と最後の頁 2469 ~ 2477
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11064-022-03566-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohashi H, Tsuji M, Oguchi T, Momma Y, Nohara T, Ito N, Yamamoto K, Nagata M, Kimura AM, Kiuchi Y, Ono K.	4. 巻 23
2. 論文標題 Combined Treatment with Curcumin and Ferulic Acid Suppressed the A β -Induced Neurotoxicity More than Curcumin and Ferulic Acid Alone	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 9685 ~ 9685
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms23179685	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe-Nakayama T, Ono K.	4. 巻 71
2. 論文標題 Single-molecule observation of self-propagating amyloid fibrils	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Microscopy	6. 最初と最後の頁 133 ~ 141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/dfac011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakai K, Noguchi-Shinohara M, Tanaka H, Ikeda T, Hamaguchi T, Kakita A, Yamada M, Ono K.	4. 巻 91
2. 論文標題 Cerebrospinal Fluid Biomarkers and Amyloid- Elimination from the Brain in Cerebral Amyloid Angiopathy-Related Inflammation	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 1173 ~ 1183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-220838	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Noguchi-Shinohara M, Hamaguchi T, Sakai K, Komatsu J, Iwasa K, Horimoto M, Nakamura H, Yamada M, Ono K.	4. 巻 91
2. 論文標題 Effects of Melissa officinalis Extract Containing Rosmarinic Acid on Cognition in Older Adults Without Dementia: A Randomized Controlled Trial	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 805 ~ 814
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-220953	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murakami Hidetomo, Ono Kenjiro, Shiraishi Tomotaka, Umehara Tadashi, Omoto Shusaku, Iguchi Yasuyuki	4. 巻 12
2. 論文標題 Mini Review: Correlations of Cognitive Domains With Cerebrospinal Fluid -Synuclein Levels in Patients With Parkinson's Disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 616357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2020.616357	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ono Kenjiro, Watanabe-Nakayama Takahiro	4. 巻 151
2. 論文標題 Aggregation and structure of amyloid -protein	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neurochemistry International	6. 最初と最後の頁 105208 ~ 105208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuint.2021.105208	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe-Nakayama Takahiro, Ono Kenjiro	4. 巻 197
2. 論文標題 Acquisition and processing of high-speed atomic force microscopy videos for single amyloid aggregate observation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Methods	6. 最初と最後の頁 4 ~ 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ymeth.2021.06.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai Kenji, Noguchi Shinohara Moeko, Ikeda Tokuhei, Hamaguchi Tsuyoshi, Ono Kenjiro, Yamada Masahito	4. 巻 143
2. 論文標題 Cerebrospinal fluid cytokines and metalloproteinases in cerebral amyloid angiopathy related inflammation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Acta Neurologica Scandinavica	6. 最初と最後の頁 450 ~ 457
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ane.13382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Futamura Akinori, Hieda Sotaro, Mori Yukiko, Sugimoto Azusa, Kasai Hideyo, Kuroda Takeshi, Yano Satoshi, Kasuga Kensaku, Murakami Hidetomo, Ikeuchi Takeshi, Ono Kenjiro	4. 巻 79
2. 論文標題 Cingulate Island Sign in Single Photon Emission Computed Tomography: Clinical Biomarker Correlations in Lewy Body Disease and Alzheimer 's Disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 1003 ~ 1008
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-201145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Futamura Akinori, Hieda Sotaro, Mori Yukiko, Kasuga Kensaku, Sugimoto Azusa, Kasai Hideyo, Kuroda Takeshi, Yano Satoshi, Tsuji Mayumi, Ikeuchi Takeshi, Irie Kazuhiro, Ono Kenjiro	4. 巻 80
2. 論文標題 Toxic Amyloid-42 Conformer May Accelerate the Onset of Alzheimer's Disease in the Preclinical Stage	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 639 ~ 646
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-201407	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miki Ayako, Kinno Ryuta, Ochiai Hirota, Kubota Satomi, Mori Yukiko, Futamura Akinori, Sugimoto Azusa, Kuroda Takeshi, Kasai Hideyo, Yano Satoshi, Hieda Sotaro, Kokaze Akatsuki, Ono Kenjiro	4. 巻 13
2. 論文標題 Sex Differences in the Relationship of Serum Vitamin B1 and B12 to Dementia Among Memory Clinic Outpatients in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 667215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2021.667215	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori Yukiko, Tsuji Mayumi, Oguchi Tatsunori, Kasuga Kensaku, Kimura Atsushi, Futamura Akinori, Sugimoto Azusa, Kasai Hideyo, Kuroda Takeshi, Yano Satoshi, Hieda Sotaro, Kiuchi Yuji, Ikeuchi Takeshi, Ono Kenjiro	4. 巻 12
2. 論文標題 Serum BDNF as a Potential Biomarker of Alzheimer's Disease: Verification Through Assessment of Serum, Cerebrospinal Fluid, and Medial Temporal Lobe Atrophy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Neurology	6. 最初と最後の頁 653267
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2021.653267	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Atsushi Michael, Tsuji Mayumi, Yasumoto Taro, Mori Yukiko, Oguchi Tatsunori, Tsuji Yuya, Umino Masakazu, Umino Asami, Nishikawa Toru, Nakamura Shiro, Inoue Tomio, Kiuchi Yuji, Yamada Masahito, Teplow David B., Ono Kenjiro	4. 巻 171
2. 論文標題 Myricetin prevents high molecular weight A ₁₋₄₂ oligomer-induced neurotoxicity through antioxidant effects in cell membranes and mitochondria	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Free Radical Biology and Medicine	6. 最初と最後の頁 232 ~ 244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.freeradbiomed.2021.05.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Senda M., Ishii K., Ito K., Ikeuchi T., Matsuda H., Iwatsubo T., Iwata A., Ihara R., Suzuki K., Kasuga K., Ikari Y., Niimi Y., Arai H., Tamaoka A., Arahata Y., Itoh Y., Tachibana H., Ichimiya Y., Washizuka S., Odawara T., Ishii K., Ono K., Yokota T., Nakanishi A., Matsubara E., Mori H., Shimada H.	4. 巻 8
2. 論文標題 A Japanese Multicenter Study on PET and Other Biomarkers for Subjects with Potential Preclinical and Prodromal Alzheimer's Disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal Of Prevention of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 495 ~ 502
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14283/jpad.2021.37	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Honma Motoyasu, Murakami Hidetomo, Yabe Yoshiko, Kuroda Takeshi, Futamura Akinori, Sugimoto Azusa, Terao Yasuo, Masaoka Yuri, Izumizaki Masahiko, Kawamura Mitsuru, Ono Kenjiro	4. 巻 99
2. 論文標題 Stopwatch training improves cognitive functions in patients with Parkinson's disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 1325 ~ 1336
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jnr.24812	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iizuka Natsuko, Masaoka Yuri, Kubota Satomi, Sugiyama Haruko, Yoshida Masaki, Yoshikawa Akira, Koiwa Nobuyoshi, Honma Motoyasu, Watanabe Keiko, Kamiyo Shotaro, Kamimura Sawa, Ida Masahiro, Ono Kenjiro, Izumizaki Masahiko	4. 巻 11
2. 論文標題 Entorhinal cortex and parahippocampus volume reductions impact olfactory decline in aged subjects	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain and Behavior	6. 最初と最後の頁 e02115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wada Sayaka, Honma Motoyasu, Masaoka Yuri, Yoshida Masaki, Koiwa Nobuyoshi, Sugiyama Haruko, Iizuka Natsuko, Kubota Satomi, Kokudai Yumika, Yoshikawa Akira, Kamiyo Shotaro, Kamimura Sawa, Ida Masahiro, Ono Kenjiro, Onda Hidetoshi, Izumizaki Masahiko	4. 巻 16
2. 論文標題 Volume of the right supramarginal gyrus is associated with a maintenance of emotion recognition ability	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0254623
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0254623	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iizuka Natsuko, Masaoka Yuri, Kubota Satomi, Sugiyama Haruko, Yoshida Masaki, Yoshikawa Akira, Koiwa Nobuyoshi, Honma Motoyasu, Watanabe Keiko, Kamiyo Shotaro, Kamimura Sawa, Ida Masahiro, Ono Kenjiro, Izumizaki Masahiko	4. 巻 11
2. 論文標題 Entorhinal cortex and parahippocampus volume reductions impact olfactory decline in aged subjects	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain and Behavior	6. 最初と最後の頁 e021152021
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ibrahim Nor Faeizah, Hamezah Hamizah Shahirah, Yanagisawa Daijiro, Tsuji Mayumi, Kiuchi Yuji, Ono Kenjiro, Tooyama Ikuo	4. 巻 28
2. 論文標題 The effect of -tocopherol, - and -tocotrienols on amyloid- aggregation and disaggregation in vitro	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biochemistry and Biophysics Reports	6. 最初と最後の頁 101131 ~ 101131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrep.2021.101131	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuroda Takeshi, Honma Motoyasu, Mori Yukiko, Futamura Akinori, Sugimoto Azusa, Kasai Hideyo, Yano Satoshi, Hieda Sotaro, Kasuga Kensaku, Ikeuchi Takeshi, Ono Kenjiro	4. 巻 85
2. 論文標題 White Matter Lesions May Aid in Differentiating Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus and Alzheimer's Disease	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 851 ~ 862
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-215187	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kokudai Yumika, Honma Motoyasu, Masaoka Yuri, Yoshida Masaki, Sugiyama Haruko, Yoshikawa Akira, Koiwa Nobuyoshi, Kubota Satomi, Iizuka Natsuko, Wada Sayaka, Kamiyo Shotaro, Uchida Yuki, Yano Satoshi, Ida Masahiro, Ono Kenjiro, Izumizaki Masahiko	4. 巻 22
2. 論文標題 Cascade process mediated by left hippocampus and left superior frontal gyrus affects relationship between aging and cognitive dysfunction	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Neuroscience	6. 最初と最後の頁 75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12868-021-00680-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakano Hiroto, Hamaguchi Tsuyoshi, Ikeda Tokuhei, Watanabe Nakayama Takahiro, Ono Kenjiro, Yamada Masahito	4. 巻 160
2. 論文標題 Inactivation of seeding activity of amyloid protein aggregates in vitro	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Neurochemistry	6. 最初と最後の頁 499 ~ 516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.15563	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hanazuka Yuki, Futamura Akinori, Hirata Satoshi, Midorikawa Akira, Ono Kenjiro, Kawamura Mitsuru	4. 巻 12
2. 論文標題 The Eyes Are More Eloquent Than Words: Anticipatory Looking as an Index of Event Memory in Alzheimer's Disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Neurology	6. 最初と最後の頁 642464
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2021.642464	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hamaguchi Tsuyoshi, Kim Jee Hee, Hasegawa Akane, Goto Ritsuko, Sakai Kenji, Ono Kenjiro, Itoh Yoshinori, Yamada Masahito	4. 巻 9
2. 論文標題 Exogenous A seeds induce A depositions in the blood vessels rather than the brain parenchyma, independently of A strain-specific information	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Acta Neuropathologica Communications	6. 最初と最後の頁 151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40478-021-01252-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masaoka Yuri, Sugiyama Haruko, Yoshida Masaki, Yoshikawa Akira, Honma Motoyasu, Koiwa Nobuyoshi, Kamiyo Shotaro, Watanabe Keiko, Kubota Satomi, Iizuka Natsuko, Ida Masahiro, Ono Kenjiro, Izumizaki Masahiko	4. 巻 15
2. 論文標題 Odors Associated With Autobiographical Memory Induce Visual Imagination of Emotional Scenes as Well as Orbitofrontal-Fusiform Activation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 709050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2021.709050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikeuchi Takeshi, Yano Yuki, Sato Wataru, Morikawa Fumiyoshi, Toru Shuta, Nishimura Chika, Miyazawa Nobuhiko, Kuroha Yasuko, Koike Ryoko, Tanaka Shin, Utsumi Kumiko, Kasuga Kensaku, Tokutake Takayoshi, Ono Kenjiro, et.,al.	4. 巻 14
2. 論文標題 Development of a Novel Nutrition-Related Multivariate Biomarker for Mild Cognitive Impairment Based on the Plasma Free Amino Acid Profile	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 637 ~ 637
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu14030637	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shigemoto Yoko, Matsuda Hiroshi, Kimura Yukio, Chiba Emiko, Ohnishi Masahiro, Nakaya Moto, Maikusa Norihide, Ogawa Masayo, Mukai Yohei, Takahashi Yuji, Sako Kazuya, Toyama Hiroshi, Inui Yoshitaka, Taki Yasuyuki, Nagayama Hiroshi, Ono Kenjiro, Kono Atsushi, Sekiguchi Kenji, Hirano Shigeki, Sato Noriko	4. 巻 36
2. 論文標題 Voxel-based analysis of age and gender effects on striatal [123I] FP-CIT binding in healthy Japanese adults	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Annals of Nuclear Medicine	6. 最初と最後の頁 460 ~ 467
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12149-022-01725-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki Tritia R., Ono Kenjiro, Ho Lap, Pasinetti Giulio M.	4. 巻 14
2. 論文標題 Gut Microbiome-Modified Polyphenolic Compounds Inhibit α -Synuclein Seeding and Spreading in α -Synucleinopathies	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2020.00398	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ono Kenjiro, Tsuji Mayumi, Yamasaki Tritia R., Pasinetti Giulio M.	4. 巻 25
2. 論文標題 Anti-aggregation Effects of Phenolic Compounds on α -synuclein	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Molecules	6. 最初と最後の頁 2444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules25102444	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ikeda Yoshihisa, Kikuchi Mitsuru, Noguchi-Shinohara Moeko, Iwasa Kazuo, Kameya Masafumi, Hirose Tetsu, Yoshita Mitsuhiro, Ono Kenjiro, Samuraki-Yokohama Miharuru, Yamada Masahito	4. 巻 10
2. 論文標題 Spontaneous MEG activity of the cerebral cortex during eyes closed and open discriminates Alzheimer's disease from cognitively normal older adults	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 9132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-66034-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe-Nakayama Takahiro, Sahoo Bikash R., Ramamoorthy Ayyalusamy, Ono Kenjiro	4. 巻 21
2. 論文標題 High-Speed Atomic Force Microscopy Reveals the Structural Dynamics of the Amyloid- and Amylin Aggregation Pathways	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 4287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21124287	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe-Nakayama Takahiro, Nawa Maika, Konno Hiroki, Kodera Noriyuki, Ando Toshio, Teplow David B., Ono Kenjiro	4. 巻 14
2. 論文標題 Self- and Cross-Seeding on -Synuclein Fibril Growth Kinetics and Structure Observed by High-Speed Atomic Force Microscopy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Nano	6. 最初と最後の頁 9979 ~ 9989
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsnano.0c03074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Noguchi-Shinohara Moeko, Ono Kenjiro, Hamaguchi Tsuyoshi, Nagai Toshitada, Kobayashi Shoko, Komatsu Junji, Samuraki-Yokohama Miharuru, Iwasa Kazuo, Yokoyama Kunihiro, Nakamura Hiroyuki, Yamada Masahito	4. 巻 10
2. 論文標題 Safety and efficacy of Melissa officinalis extract containing rosmarinic acid in the prevention of Alzheimer's disease progression	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 18627
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-73729-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakai Kenji, Noguchi Shinohara Moeko, Ikeda Tokuhei, Hamaguchi Tsuyoshi, Ono Kenjiro, Yamada Masahito	4. 巻 143
2. 論文標題 Cerebrospinal fluid cytokines and metalloproteinases in cerebral amyloid angiopathy related inflammation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Acta Neurologica Scandinavica	6. 最初と最後の頁 450 ~ 457
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ane.13382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Noguchi-Shinohara Moeko, Domoto Chiaki, Yoshida Taketoshi, Niwa Kozue, Yuki-Nozaki Sohshi, Samuraki-Yokohama Miharu, Sakai Kenji, Hamaguchi Tsuyoshi, Ono Kenjiro, Iwasa Kazuo, Matsunari Ichiro, Komai Kiyonobu, Nakamura Hiroyuki, Yamada Masahito	4. 巻 15
2. 論文標題 A new computerized assessment battery for cognition (C-ABC) to detect mild cognitive impairment and dementia around 5 min	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0243469
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0243469	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Futamura Akinori, Hieda Sotaro, Mori Yukiko, Sugimoto Azusa, Kasai Hideyo, Kuroda Takeshi, Yano Satoshi, Kasuga Kensaku, Murakami Hidetomo, Ikeuchi Takeshi, Ono Kenjiro	4. 巻 79
2. 論文標題 Cingulate Island Sign in Single Photon Emission Computed Tomography: Clinical Biomarker Correlations in Lewy Body Disease and Alzheimer's Disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 1003 ~ 1008
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-201145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Futamura Akinori, Hieda Sotaro, Mori Yukiko, Kasuga Kensaku, Sugimoto Azusa, Kasai Hideyo, Kuroda Takeshi, Yano Satoshi, Tsuji Mayumi, Ikeuchi Takeshi, Irie Kazuhiro, Ono Kenjiro	4. 巻 80
2. 論文標題 Toxic Amyloid-42 Conformer May Accelerate the Onset of Alzheimer's Disease in the Preclinical Stage	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 639 ~ 646
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-201407	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murakami Hidetomo, Ono Kenjiro, Shiraishi Tomotaka, Umehara Tadashi, Omoto Shusaku, Iguchi Yasuyuki	4. 巻 12
2. 論文標題 Mini Review: Correlations of Cognitive Domains With Cerebrospinal Fluid α -Synuclein Levels in Patients With Parkinson's Disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 616357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2020.616357	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honma Motoyasu, Murakami Hidetomo, Yabe Yoshiko, Kuroda Takeshi, Futamura Akinori, Sugimoto Azusa, Terao Yasuo, Masaoka Yuri, Izumizaki Masahiko, Kawamura Mitsuru, Ono Kenjiro	4. 巻 99
2. 論文標題 Stopwatch training improves cognitive functions in patients with Parkinson's disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 1325 ~ 1336
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jnr.24812	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野賢二郎	4. 巻 31
2. 論文標題 認知症領域におけるプロテインパチーの病因解明up to date	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 39 ~ 45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田岳志、小野賢二郎	4. 巻 38
2. 論文標題 健忘	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1391 ~ 1393
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉本あずさ、小野賢二郎	4. 巻 11
2. 論文標題 A 凝集制御薬	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 認知症の最新医療	6. 最初と最後の頁 18～23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稗田宗太郎、小野賢二郎	4. 巻 11
2. 論文標題 A 免疫療法時代における高齢者タウオパチーの重要性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 認知症の最新医療	6. 最初と最後の頁 38～40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野賢二郎	4. 巻 -
2. 論文標題 神経変性疾患の動物モデルの実験的治療：腸内微生物叢由来フェノール化合物の α -シヌクレイン凝集抑制効果	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 神経治療学	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野賢二郎	4. 巻 38
2. 論文標題 認知症診療の現状と将来展望：A を中心とするアプローチ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 神経治療学	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野賢二郎	4. 巻 -
2. 論文標題 認知症診療の知 アルツハイマー病の疾患修飾療法の展望	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 脳神経外科ジャーナル	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nomoto Shohei, Kinno Ryuta, Ochiai Hirota, Kubota Satzmi, Mori Yukiko, Futamura Akinori, Sugimoto Azusa, Kuroda Takeshi, Yano Satoshi, Murakami Hidetomo, Shirasawa Takako, Yoshimoto Takahiko, Minoura Akira, Kokaze Akatsuki, Ono Kenjiro	4. 巻 14
2. 論文標題 The relationship between thyroid function and cerebral blood flow in mild cognitive impairment and Alzheimer 's disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0214676
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0214676	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasumoto Taro, Takamura Yusaku, Tsuji Mayumi, Watanabe Nakayama Takahiro, Imamura Keiko, Inoue Haruhisa, Nakamura Shiro, Inoue Tomio, Kimura Atsushi, Yano Satoshi, Nishijo Hisao, Kiuchi Yuji, Teplow David B., Ono Kenjiro	4. 巻 33
2. 論文標題 High molecular weight amyloid 1 42 oligomers induce neurotoxicity via plasma membrane damage	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 9220 ~ 9234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201900604R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Murakami Hidetomo, Tokuda Takahiko, El-Agnaf Omar M. A., Ohmichi Takuma, Miki Ayako, Ohashi Hideaki, Owan Yoshiyuki, Saito Yu, Yano Satoshi, Tsukie Tamao, Ikeuchi Takeshi, Ono Kenjiro	4. 巻 19
2. 論文標題 Correlated levels of cerebrospinal fluid pathogenic proteins in drug-naive Parkinson 's disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Neurology	6. 最初と最後の頁 113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12883-019-1346-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ono Kenjiro, Tsuji Mayumi	4. 巻 10
2. 論文標題 Pharmacological Potential of Cilostazol for Alzheimer ' s Disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 559
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2019.00559	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hase Tomoki, Shishido Syun, Yamamoto So, Yamashita Rei, Nukima Haruka, Taira Shu, Toyoda Tsudoi, Abe Keiko, Hamaguchi Tsuyoshi, Ono Kenjiro, Noguchi-Shinohara Moeko, Yamada Masahito, Kobayashi Shoko	4. 巻 9
2. 論文標題 Rosmarinic acid suppresses Alzheimer ' s disease development by reducing amyloid aggregation by increasing monoamine secretion	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 8711
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-45168-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honma Motoyasu, Itoi Chihiro, Midorikawa Akira, Terao Yasuo, Masaoka Yuri, Kuroda Takeshi, Futamura Akinori, Shiromaru Azusa, Ohta Haruhisa, Kato Nobumasa, Kawamura Mitsuru, Ono Kenjiro	4. 巻 9
2. 論文標題 Contraction of distance and duration production in autism spectrum disorder	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 8806
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-45250-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto Azusa, Kuroda Takeshi, Tsuda Hiromasa, Ono Kenjiro	4. 巻 59
2. 論文標題 Three-dimensional Imaging of Abducens Palsy by Neurovascular Compression	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 305 ~ 307
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.3445-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Fumio, Sato Noriko, Ota Miho, Sugiyama Atsuhiko, Shigemoto Yoko, Morimoto Emiko, Kimura Yukio, Wakasugi Noritaka, Takahashi Yuji, Futamura Akinori, Kawamura Mitsuru, Ono Kenjiro, Nakamura Masayuki, Sano Akira, Watanabe Masako, Matsuda Hiroshi, Abe Osamu	4. 巻 408
2. 論文標題 Discriminating chorea-acanthocytosis from Huntington's disease with single-case voxel-based morphometry analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the Neurological Sciences	6. 最初と最後の頁 116545
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2019.116545	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Abe K, Shang J, Shi X, Yamashita T, Hishikawa N, Takemoto M, Morihara R, Nakano Y, Ohta Y, Deguchi K, Ikeda M, Ikeda Y, Okamoto K, Shoji M, Takatama M, Kojo M, Kuroda T, Ono K, Kimura N, Matsubara E, Osakada Y, Wakutani Y, Takao Y, Higashi Y, Asada K, Senga T, Lee LJ, Tanaka K.	4. 巻 73
2. 論文標題 A New Serum Biomarker Set to Detect Mild Cognitive Impairment and Alzheimer's Disease by Peptidome Technology	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 217 ~ 227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-191016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Trageser Kyle J., Smith Chad, Herman Francis J., Ono Kenjiro, Pasinetti Giulio Maria	4. 巻 13
2. 論文標題 Mechanisms of Immune Activation by c9orf72-Expansions in Amyotrophic Lateral Sclerosis and Frontotemporal Dementia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2019.01298	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ono Kenjiro, Zhao Daisy, Wu Qingli, Simon James, Wang Jun, Radu Aurelian, Pasinetti Giulio Maria	4. 巻 73
2. 論文標題 Pine Bark Polyphenolic Extract Attenuates Amyloid- and Tau Misfolding in a Model System of Alzheimer's Disease Neuropathology	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 1597 ~ 1606
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-190543	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sugimoto A, Shozawa H, Mizuma K, Hieda S, Ono K	4. 巻 -
2. 論文標題 Pallidal dementia with underlying sleep apnea syndrome: a case report and literature review	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurol Sci	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10072-020-04273-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kinno Ryuta, Osakabe Yuyuko, Takahashi Seiya, Kurokawa Shinji, Owan Yoshiyuki, Ono Kenjiro, Baba Yasuhiko	4. 巻 99
2. 論文標題 Nonsystemic vasculitic neuropathy in a patient with IgG-monoclonal gammopathy of undetermined significance	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Medicine	6. 最初と最後の頁 e19036
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.00000000000019036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ono Kenjiro, Tsuji Mayumi	4. 巻 21
2. 論文標題 Protofibrils of Amyloid- are Important Targets of a Disease-Modifying Approach for Alzheimer ' s Disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 952
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21030952	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuroda Takeshi, Honma Motoyasu, Mori Yukiko, Futamura Akinori, Sugimoto Azusa, Yano Satoshi, Kinno Ryuta, Murakami Hidetomo, Ono Kenjiro	4. 巻 12
2. 論文標題 Increased Presence of Cerebral Microbleeds Correlates With Ventricular Enlargement and Increased White Matter Hyperintensities in Alzheimer ' s Disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2020.00013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Futamura Akinori, Nakamura Masayuki, Kawamura Mitsuru, Sano Akira, Ono Kenjiro	4. 巻 68
2. 論文標題 Novel VPS13A Gene Mutations in a South Asian, Indian Patient with Chorea-acanthocytosis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurology India	6. 最初と最後の頁 206 ~ 208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4103/0028-3886.279653	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉本あずさ、小野賢二郎	4. 巻 30
2. 論文標題 抗アミロイド 系薬剤	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 653 ~ 662
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉本あずさ、小野賢二郎	4. 巻 9
2. 論文標題 A 凝集制御薬	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 認知症の最新医療	6. 最初と最後の頁 138 ~ 142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場 康彦、高橋 聖也、小野 賢二郎	4. 巻 57
2. 論文標題 本邦における新規MAO-B阻害薬ラサギリンの長期使用経験<第1報>	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatric Medicine	6. 最初と最後の頁 983 ~ 987
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田岳志、小野賢二郎	4. 巻 9
2. 論文標題 アルツハイマー病におけるbrain lymphatic drainage systemの障害	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 認知症の最新医療	6. 最初と最後の頁 212 ~ 213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金野竜太、小野賢二郎	4. 巻 38
2. 論文標題 言語機能障害	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 211 ~ 213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 栗城綾子、神谷雄己、宮内淑史、水間啓太、小室浩康、福田早織、藤井隆史、河面有倫、新井晋太郎、池田尚人、小野賢二郎	4. 巻 31
2. 論文標題 上位頸髄梗塞をきたした69歳男性例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care	6. 最初と最後の頁 63 ~ 68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野 賢二郎	4. 巻 72
2. 論文標題 診断バイオマーカーとしての シヌクレイン	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BRAIN and NERVE	6. 最初と最後の頁 137 ~ 141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計173件(うち招待講演 90件/うち国際学会 18件)

1. 発表者名 Ono K, Nakayama T, Tsuji M, Umeda K, Oguchi T, Konno H, Shinohara M, Kiuch Y, Kodera N, Teplow DB
2. 発表標題 Structural dynamics of amyloid- β protofibrils and action of lecanemab as observed by high-speed atomic force microscopy
3. 学会等名 CTAD2023(16th Clinical Trials On Alzheimer's Disease) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Shinohara M, Ono K
2. 発表標題 Effects of Melissa officinalis extract containing rosmarinic acid for Alzheimer's disease in human
3. 学会等名 CTAD2023(16th Clinical Trials On Alzheimer's Disease) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ono K, Pasinetti GM
2. 発表標題 Role of gut microbiota-derived metabolites in neurodegenerative disorders involving protein misfolding: implication in lewy body disease patients
3. 学会等名 AD/PD 2024 Alzheimer's & Parkinson's Diseases (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Ono K, Watanabe-Nakayama T
2. 発表標題 Structural Dynamics of Amyloid- β Protofibrils And Action Of Lecanemab As Observed By High-Speed Atomic Force Microscopy
3. 学会等名 AD/PD 2024 Alzheimer's & Parkinson's Diseases (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Noguchi-Shinohara M, Murakami H, Sakashita Y, Mori Y, Komatsu J, Muramatsu D, Hikishima S, Ono K
2. 発表標題 Plasma Amyloid- Biomarkers Distinguish Co-Morbid Alzheimer ' S Disease Pathology In Patients With Lewy Body Disease
3. 学会等名 AD/PD 2024 Alzheimer ' s & Parkinson ' s Diseases (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病 ; 抗A 抗体療法はどこまで進んできたか ?
3. 学会等名 第24回中部老年期認知症研究会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病 : 疾患装飾へのアプローチ
3. 学会等名 第201回北陸精神神経学会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症の診断と治療
3. 学会等名 第120回日本内科学会総会・講演会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の疾患修飾療法の現状と展望
3. 学会等名 第31回日本医学会総会2023東京（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症の根本的治療への展望
3. 学会等名 第31回日本医学会総会2023東京（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症：診断と治療の最前線
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アミロイド研究から見てきたアルツハイマー病の病態解明
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症の根本的治療への展望
3. 学会等名 日本神経学会2023年度医学生・研修医のための脳神経内科サマーキャンプ（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の疾患修飾療法
3. 学会等名 第64回日本神経病理学会総会学術研究会 / 第66回日本神経化学学会大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 異種アミロイド間の相互干渉効果
3. 学会等名 第64回日本神経病理学会総会学術研究会 / 第66回日本神経化学学会大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の病態からアプローチを再考する
3. 学会等名 第64回日本神経病理学会総会学術研究会 / 第66回日本神経化学学会大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病：最新の話題
3. 学会等名 第28回認知神経科学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アミロイド に焦点を当てたアルツハイマー病の疾患修飾療法へのアプローチ
3. 学会等名 第53回日本神経精神薬理学会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病治療戦略のフロントライン：アミロイド 抗体療法
3. 学会等名 第12回日本認知症予防学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の疾患修飾薬の現状と展望
3. 学会等名 第12回日本認知症予防学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病治療研究の進歩
3. 学会等名 日本認知症予防学会第13回専門医教育セミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の疾患修飾療法の現状と展望
3. 学会等名 日本神経学会難治性神経疾患基礎研究支援事業シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 A プロトフィブリルとアルツハイマー病
3. 学会等名 日本神経学会難治性神経疾患基礎研究支援事業シンポジウム 脳神経内科ウェブセミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 パーキンソン病：疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第27回日本神経感染症学会総会・学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 パーキンソン病：疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第149回日本薬理学会関東部会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病疾患修飾薬の最新情報
3. 学会等名 第38回日本老年精神医学会秋季大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 抗アミロイド療法の現状と未来
3. 学会等名 第41回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 シヌクレイン凝集と治療的アプローチ
3. 学会等名 第41回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症の診断と治療 - アルツハイマー病を中心に -
3. 学会等名 第41回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知機能障害を伴うレビー小体病を体液バイオマーカーから考える
3. 学会等名 第41回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 抗A 抗体療法の機序と展望
3. 学会等名 第41回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の診断と治療の最前線
3. 学会等名 第41回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 抗A 抗体レケンピによるアルツハイマー病の新たな治療戦略
3. 学会等名 第41回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アミロイドに焦点をあてた疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第63回日本核医学会学術総会 / 第43回日本核医学技術学会総会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 プロトフィブリルと神経変性疾患
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 高速原子間力顕微鏡（高速AFM）を用いたアプローチ
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 A 凝集体の毒性とその制御
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の疾患修飾療法へのアプローチ
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 シヌクレイノパチーの疾患修飾療法へのアプローチ
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病病態における蛋白凝集体の病的意義を考える
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の診断と治療 - てんかんと関連も含めて -
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 / 第60回日本臨床神経生理学会技術講習会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 篠原もえ子、小野賢二郎
2. 発表標題 体液バイオマーカーからみたAlzheimer病理合併Lewy小体病
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 村松大輝、小野賢二郎
2. 発表標題 タウオパチーの疾患修飾療法
3. 学会等名 第64回日本神経病理学会総会学術研究会 / 第66回日本神経化学学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎、中山隆宏、辻まゆみ、梅田健一、小口達敬、紺野宏記、篠原もえ子、木内祐二、古寺哲幸、David B. Teplow
2. 発表標題 高速原子間力顕微鏡を用いたA β プロトフィブリルの構造動態とレカネマブの作用
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 木村篤史、安本太郎、森友紀子、門馬佑太郎、野原哲人、二村明德、黒田岳志、笠井英世、金野竜太、稗田宗太郎、Teplow David、辻まゆみ、木内祐二、島田 育、村上秀友、小野賢二郎
2. 発表標題 Vitamin B12 may inhibit the neurotoxicity of Amyloid beta oligomers and protect memory function
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Shinohara M, Hamaguchi T, Sakai K, Komatsu J, Iwasa K, Horimoto M, Nakamura H, Yamada M, Ono K
2. 発表標題 Effects of Melissa officinalis Extract on cognition in older adults
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 篠原もえ子、村上秀友、坂下泰浩、森友紀子、小松潤史、村松大輝、疋島貞雄、小野賢二郎
2. 発表標題 血液アミロイドマーカによるアルツハイマー病理合併レビー小体病の検出
3. 学会等名 第64回日本神経病理学会総会学術研究会 / 第66回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 篠原もえ子、村上秀友、坂下泰浩、森友紀子、小松潤史、村松大輝、疋島貞雄、小野賢二郎
2. 発表標題 血液によるアルツハイマー病理合併レビー小体病の検出
3. 学会等名 第17回パーキンソン病・運動障害疾患 कांग्रेस
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 篠原もえ子、村上英友、坂下泰浩、森友紀子、小松潤史、村松大輝、疋島貞雄、小野賢二郎
2. 発表標題 血液によるアルツハイマー病理合併レビー小体病の検出
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中野博人、浜口 毅、池田篤平、中山隆宏、小野賢二郎、山田正仁
2. 発表標題 アミロイド 凝集体におけるシーディング活性の不活化に関する in vitro 研究
3. 学会等名 第13回日本脳血管・認知症学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Nakano H, Hamaguchi T, Ikeda T, Watanabe-Nakayama T, Ono K, Yamada M
2. 発表標題 Effects of inactivation procedures for seeding activity of amyloid -protein aggregates
3. 学会等名 第41回日本神経治療学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中野博人、森 誠、疋島貞雄、南川靖太、村松大輝、坂下泰浩、小野賢二郎
2. 発表標題 Nobiletinのアミロイド 凝集抑制効果の検証
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 村上秀友、森友紀子、石垣征一郎、小野賢二郎
2. 発表標題 IgG index of cerebrospinal fluid correlates with cardiac uptake of 123I-MIBG in Parkinson's disease
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 森友紀子、柿沼佑樹、加藤悠太、石代優美香、久保田怜美、黒田岳志、矢野 怜、稗田宗太郎、小野賢二郎、村上秀友
2. 発表標題 Lewy小体型認知症におけるDAT-SPECTとVOI間萎縮比の検討
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 森友紀子、久保田怜美、黒田岳志、矢野 怜、稗田宗太郎、小野賢二郎、村上秀友
2. 発表標題 Lewy小体型認知症における支持的バイオマーカーの有用性の検討
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 矢野 怜、浅野未希、小菅将太、正路大樹、森友紀子、笠井英世、黒田岳志、稗田宗太郎、池内 健、山岸昌一、小野賢二郎、村上秀友
2. 発表標題 早期アルツハイマー型認知症における終末糖化産物の認知機能への影響
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 矢野 怜、浅野未希、小菅将太、正路大樹、森友紀子、笠井英世、黒田岳志、稗田宗太郎、池内 健、山岸昌一、小野賢二郎、村上秀友
2. 発表標題 早期アルツハイマー型認知症における終末糖化産物の認知機能への影響の検討
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の抗体療法とは？
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 坂井健二、山田正仁、小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病における疾患修飾療法と脳アミロイドアンギオパチー
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の病態から診断・治療を再考する
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アミロイド の病態と疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 坂井健二, 篠原もえ子, 田中英智, 池田篤平, 瀧口 毅, 柿田明美, 山田正仁, 小野賢二郎
2. 発表標題 Elimination of vascula A in cerebral amyloid angiopathy-related inflammation/vasculitis
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 疋島貞雄, 坂井健二, 山口浩輝, 柴田修太郎, 林 幸司, 中野博人, 兼元みずき, 碓井雄大, 谷口 優, 小松潤史, 中村-進藤桂子, 野崎一朗, 浜口 毅, 岩佐和夫, 山田正仁, 小野賢二郎
2. 発表標題 Deterioration after disease modifying treatments in a patient with ATTRv amyloidosis (Leu58Arg)
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 その他の認知症
3. 学会等名 認知症予防学会第6回WEB講演会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症の診断と治療 - アルツハイマー型認知症の治療戦略を中心に -
3. 学会等名 日本内科学会北陸支部 第86回生涯教育講演会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 プロテインパチーの病因解明 Up to Date
3. 学会等名 第63回日本神経病理学会総会学術研究会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柴田修太郎, 野崎一朗, 小野賢二郎
2. 発表標題 Logopenic型進行性失語を呈した Alzheimer病の1例
3. 学会等名 第163回日本神経学会東海北陸地方会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 ポリフェノール類の認知症への予防・治療効果を考える
3. 学会等名 第11回日本認知症予防学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症へのアプローチを考える
3. 学会等名 第11回日本認知症予防学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の抗体療法の現在
3. 学会等名 第12回日本脳血管・認知症学会総会 VAS-COG Japan 2022（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の抗体療法の現状と展望
3. 学会等名 第9回日本アミロイドーシス学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 坂井健二，篠原もえ子，田中英智，池田篤平，瀧口 毅，柿田明美，山田正仁，小野賢二郎
2. 発表標題 脳アミロイドアンギオパチー関連炎症における脳脊髄液バイオマーカーと血管病理の解析
3. 学会等名 第9回日本アミロイドーシス学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 疋島貞雄, 坂井健二, 赤木明生, 山口浩輝, 柴田修太郎, 林 幸司, 中野博人, 兼元みずき, 碓井雄大, 谷口 優, 小松潤史, 進藤柱子, 野崎一朗, 瀧口 毅, 岩佐和夫, 山田正仁, 小野賢二郎
2. 発表標題 Leu58Arg(p.Leu78Arg)変異を有するATTRvアミロイドーシス症例の疾患修飾治療と長期経過についての検討
3. 学会等名 第9回日本アミロイドーシス学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病に対する疾患修飾療法の現状と展望
3. 学会等名 第40回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症の診断と治療 - アルツハイマー型認知症を中心に -
3. 学会等名 第40回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 パーキンソン病の治療的アプローチを考える
3. 学会等名 第40回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アミロイド仮説から見たアルツハイマー病の病態機序を再考する
3. 学会等名 第41回日本認知症学会学術集会 / 第37回日本老年精神医学会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ono K
2. 発表標題 HMW A oligomers are important targets for disease modifying approach of Alzheimer's disease
3. 学会等名 FASEB Science Research Conference (SRC) "The Protein Aggregation Conference: Function, Dysfunction, and Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kimura A, Kinno R, Tsuji M, Ono K.
2. 発表標題 Effects of Vitamin B12 on cognitive function in elderly patients.
3. 学会等名 Alzheimer's Association International Conference AAIC2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Watanabe-Nakayama T, Tsuji M, Oguchi T, Ono K.
2. 発表標題 Video imaging of structural dynamics of amyloid protofibrils.
3. 学会等名 Alzheimer's Association International Conference AAIC2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 A オリゴマーに焦点を当てたアルツハイマー病へのアプローチ
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症診療における核医学検査の役割
3. 学会等名 第63回日本老年医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症診療における画像診断の有用性 レビー小体型認知症を中心に
3. 学会等名 第57回日本医学放射線学会秋季臨床大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 レビー小体型認知症の診療と疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第26回日本神経精神医学会学術集会、第26回日本神経精神医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症診療における核医学検査の有用性
3. 学会等名 第51回日本神経放射線学会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病予防への非薬物的アプローチ
3. 学会等名 第10回日本認知症予防学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 シヌクレイン凝集体構造の多様性からレビー小体病を考える
3. 学会等名 第15回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 パーキンソン病と自律神経障害，そして腸内微生物叢から治療的アプローチを探る
3. 学会等名 第74回日本自律神経学会総会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 抗A 療法の現状と展望
3. 学会等名 第39回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症領域におけるプロテインパチーの病因解明 Up to Date
3. 学会等名 第40回日本認知症学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大橋英朗、辻まゆみ、小口達敬、門馬佑太郎、野原哲人、井藤尚仁、山本 謙、永田末希、小野賢二郎、木内祐二
2. 発表標題 クルクミンとフェルラ酸のアミロイド 凝集および神経細胞傷害への相加的効果
3. 学会等名 第40回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 神田麻優香、森川文淑、融 衆太、西村知香、宮沢伸彦、濱野忠則、田中 晋、春日健作、徳武孝允、黒羽泰子、小野賢二郎、内海久美子、成瀬 聡、矢野由紀、北村仁美、佐藤 和、長尾健児、池内 健
2. 発表標題 MCI者における1年後のAD発症と相関する血漿中アミノ酸の探索
3. 学会等名 第40回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 黒田岳志、松岡 馨、イズデプスキ彬子、久保田怜美、渡辺慶子、森友紀子、二村明德、春日健作、池内 健、小野賢二郎
2. 発表標題 正常圧水頭症とアルツハイマー型認知症の大脳白質病変の比較
3. 学会等名 第40回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 坂井健二、篠原もえ子、池田篤平、瀧口 毅、小野賢二郎、山田正仁
2. 発表標題 脳アミロイドアンギオパチー関連炎症の脳脊髄液における炎症関連マーカーの解析
3. 学会等名 第46回日本脳卒中学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 坂井健二、篠原もえ子、池田篤平、瀧口 毅、小野賢二郎、山田正仁
2. 発表標題 Cerebrospinal fluid inflammatory markers in cerebral amyloid angiopathy-related inflammation
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉本あずさ、鍋島陽子、正路大樹、刑部祐友子、安本太郎、高橋聖也、野原哲人、野元祥平、森友紀子、二村明德、笠井英世、黒田岳志、矢野 怜、稗田宗太郎、馬場康彦、小野賢二郎
2. 発表標題 主観的時間認知を測定する質問紙の作成
3. 学会等名 第40回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Futamura A, Hieda S, Mori Y, Sugimoto A, Kasai H, Kuroda T, Yano S, Kasuga K, Murakami H, Ikeuchi T, Ono K
2. 発表標題 Cingulate island sign in SPECT: clinical biomarker correlations in LBD and AD
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 二村明德、越智隆太、花塚優貴、本間元康、河村 満、小野賢二郎
2. 発表標題 「こころの時間」を支える神経基盤
3. 学会等名 第45回日本神経心理学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Futamura A, Hieda S, Mori Y, Kasuga K, Sugimoto A, Kasai H, Kuroda T, Yano S, Tsuji M, Ikeuchi T, Irie K, Ono K
2. 発表標題 Toxic A 42 conformer may accelerate the AD onset in the preclinical stage
3. 学会等名 第40回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 政岡ゆり、杉山春子、吉田正樹、吉川 輝、本間元康、小岩信義、上條翔太郎、渡辺慶子、久保田聡美、飯塚奈都子、井田正博、小野賢二郎、泉崎雅彦
2. 発表標題 香りによる記憶想起：健常高齢者の認知機能維持の有用性について
3. 学会等名 第10回日本情動学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 森友紀子、辻まゆみ、小口達敬、春日健作、木村篤史、二村明德、杉本あずさ、笠井英世、黒田岳志、矢野 怜、稗田宗太郎、木内祐二、池内 健、小野賢二郎
2. 発表標題 血清BDNFのアルツハイマー病のバイオマーカーの可能性
3. 学会等名 第40回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 門馬祐太郎、辻まゆみ、小口達敬、野原哲人、大橋英朗、井藤尚仁、山本 謙、永田未希、中村史朗、小野賢二郎、木内祐二
2. 発表標題 A 高分子oligomer誘発性細胞傷害に対する新規治療薬GT863の保護作用
3. 学会等名 第40回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ono Kenjiro
2. 発表標題 Advances in the Diagnosis of Parkinson's disease (Up-to-date)
3. 学会等名 Chinese Society of Microcirculation Neurodegenerative Diseases Committee (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kimura Atsushi M.、Yasumoto Taro、Mori Yukiko、Oguchi Tatsunori、Umino Masakazu、Umino Asami、Nakamura Shiro、Inoue Tomio、Yamada Masahito、Teplov David B.、Kiuchi Yuji、Tsuji Mayumi、Ono Kenjiro
2. 発表標題 Myricetin prevents A oligomers-induced neurotoxicity via cell membrane damage
3. 学会等名 15th International Conference on Alzheimer ' s and Parkinson ' s Diseases (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ono Kenjiro, Murakami Hidetomo, Tokuda Takahiko, El-Agnaf Omar M. A., Ohmichi Takuma, Miki Ayako, Ohashi Hideaki, Owan Yoshiyuki, Saito Yu, Yano Satoshi, Tsukie Tamao, Ikeuchi Takeshi
2. 発表標題 Correlated levels of cerebrospinal fluid pathogenic proteins in drug-naive Parkinson's disease
3. 学会等名 Alzheimer's Association International Conference 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kimura Atsushi M., Yasumoto Taro, Mori Yukiko, Oguchi Tatsunori, Umino Masakazu, Umino Asami, Nakamura Shiro, Inoue Tomio, Yamada Masahito, Teplow David B., Kiuchi Yuji, Tsuji Mayumi, Ono Kenjiro
2. 発表標題 Vitamin B12 may prevent A β oligomer-induced neurotoxicity in Alzheimer's Disease
3. 学会等名 Alzheimer's Association International Conference 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kuroda Takeshi, Honma Motoyasu, Mori Yukiko, Futamura Akinori, Sugimoto Azusa, Yano Satoshi, Kinno Ryuta, Murakami Hidetomo, Ono Kenjiro
2. 発表標題 Relationship between Cerebral Microbleeds, Ventricular Enlargement and White Matter Hyperintensities in Alzheimer's Disease
3. 学会等名 Alzheimer's Association International Conference 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yasumoto Taro, Takamura Yusaku, Tsuji Mayumi, Watanabe-Nakayama Takahiro, Imamura Keiko, Inoue Haruhisa, Nakamura Shiro, Inoue Tomio, Kimura Atsushi, Yano Satoshi, Nishijo Hisao, Kiuchi Yuji, Teplow David B., Ono Kenjiro
2. 発表標題 High molecular weight amyloid β 1-42 oligomers induce neurotoxicity via plasma membrane damage
3. 学会等名 Alzheimer's Association International Conference 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症治療の知 アルツハイマー病の疾患修飾療法の展望
3. 学会等名 第40回日本脳神経外科コンgres総会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の疾患修飾療法の展望
3. 学会等名 第50回日本神経精神薬理学会年会、第42回日本生物学的精神医学会年会、第4回日本精神薬学会総会・学術集会（NPBPPP合同年会）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 超高齢発症の認知症疾患
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 HMW A oligomers are important targets for disease modifying approach of Alzheimer's disease
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 シヌクレイン凝集の動的観察
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病の疾患修飾療法のターゲットとしてのプロトフィブリル
3. 学会等名 第63回日本神経化学学会大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 AD病態に即した疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第63回日本神経化学学会 大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症に挑む 認知症の疾患修飾療法への光は見えるか？
3. 学会等名 第63回日本神経化学学会大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 レビー小体病：疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第79回学術総会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 サプリメントに焦点を当てたアルツハイマー病に対する疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第2回日本脳サプリメント学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 A を中心とするアプローチ
3. 学会等名 第38回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 腸内微生物叢由来フェノール化合物の病態蛋白凝集制御効果
3. 学会等名 第38回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 -シヌクレイン凝集に焦点をあてたパーキンソン病の疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第38回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 糖尿病と認知症
3. 学会等名 第35回日本糖尿病合併症学会、第26回日本糖尿病眼学会総会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 A オリゴマーに焦点を当てたアルツハイマー病の疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第39回日本認知症学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田正仁、篠原もえ子、小野賢二郎、濱口毅
2. 発表標題 Prevention of dementia from a population-based cohort study in Nakajima, Japan
3. 学会等名 第39回日本認知症学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症におけるアミロイド仮説を再考する
3. 学会等名 第35回日本老年精神医学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 篠原もえ子、濱口毅、小野賢二郎、山田正仁
2. 発表標題 中島町研究に基づく認知症予防開発の取り組み
3. 学会等名 第35回日本老年精神医学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黒田岳志、二村明德、森友紀子、杉本あずさ、矢野怜、稗田宗太郎、春日健作、池内健、小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病と正常圧水頭症の鑑別：脳脊髄液A ₁₋₄₂ /1-40, A ₁₋₄₂ /1-38比の有用性
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 兼元みずき、矢野怜、稗田宗太郎、小野賢二郎
2. 発表標題 パーキンソン病における睡眠障害の頻度とその対応
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安本太郎、高村雄策、辻まゆみ、中山隆宏、今村恵子、井上治久、中村史朗、井上富雄、木村篤史、矢野怜、西条寿夫、木内祐二、Teplow David B.、小野賢二郎
2. 発表標題 High molecular weight Amyloid oligomer induces disruption and structural change of cell membrane
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 篠原もえ子、小野賢二郎、瀧口毅、永井俊匡、小林彰子、小松潤史、横濱美晴、岩佐和夫、山田正仁
2. 発表標題 Melissa officinalis extract containing rosmarinic acid for Alzheimer's disease
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木村篤史、安本太郎、森友紀子、小口達敬、海野真一、海野麻未、中村史朗、井上富雄、辻まゆみ、木内祐二、小野賢二郎
2. 発表標題 ビタミンB12はアミロイドオリゴマーによる神経毒性を抗酸化作用により抑制する
3. 学会等名 第39回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黒田岳志、森友紀子、二村明德、杉本あずさ、笠井英世、矢野怜、稗田宗太郎、春日健作、池内健、小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病と正常圧水頭症の鑑別における脳脊髄液バイオマーカーの有用性
3. 学会等名 第39回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 二村明德、稗田宗太郎、森友紀子、春日健作、杉本あずさ、笠井英世、黒田岳志、矢野 怜、池内健、小野賢二郎
2. 発表標題 ADとDLBの脳血流SPECTの有用性
3. 学会等名 第39回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安本太郎、高村雄策、辻まゆみ、中山隆宏、今村恵子、井上治久、中村史朗、井上富雄、木村篤史、矢野怜、西条寿夫、木内祐二、Teplov David B.、小野賢二郎
2. 発表標題 高分子 A オリゴマーは細胞膜完全性を崩壊し細胞毒性を発揮する
3. 学会等名 第39回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ono K, Yasumoto T, Takamura Y, Tsuji M, Watanabe-Nakayama T, Imamura K, Inoue H, Nakamura S, Inoue T, Kimura A, Yano S, Nishijo H, Kiuchi Y, Teplov DB
2. 発表標題 High molecular weight amyloid 1-42 oligomers induce neurotoxicity via plasma membrane damage
3. 学会等名 The Protein Aggregation Conference: From Structure to In Vivo Sequelae, (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ono K, Shozawa H, Oguchi T, Tsuji M, Yano S, Kiuchi Y
2. 発表標題 Supratherapeutic concentrations of cilostazol inhibits β -amyloid oligomerization in vitro.
3. 学会等名 Alzheimer's Association International Conference 2019(AAIC) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yano S, Kinno R, Futamura A, Shiromaru A, Kuroda T, Murakami H, Ono K
2. 発表標題 Homoglobin and hematocrit levels are sensitive to functional imaging abnormalities in patients with memory loss
3. 学会等名 Alzheimer's Association International Conference 2019(AAIC) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ono K
2. 発表標題 Alzheimer's disease: The Approach for disease modification
3. 学会等名 6th Congress of Asian College of Neuropsychopharmacology (AsCNP) 29th Annual Meeting of Japanese Society of Clinical Neuropsychopharmacology (JSCNP) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 原子間力顕微鏡および電子顕微鏡によるアミロイド構成蛋白質凝集の観察
3. 学会等名 医学生物学電子顕微鏡技術学会第35回学術講演会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 稗田宗太郎、二村明德、杉本あずさ、笠井英世、黒田岳志、矢野 怜、小野賢二郎
2. 発表標題 もの忘れ外来における超高齢初診患者の傾向と神経原線維型老年期認知症の可能性
3. 学会等名 第60回日本神経学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金野竜太、刑部祐友子、高橋聖也、黒川信二、大湾喜行、清水潤、小野賢二郎、馬場康彦
2. 発表標題 病理学的に免疫性機序の関与が想定された再発性高 CK 血症を伴った視神 経脊髄炎の一例
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒田岳志、小菅将太、小口達敬、森友紀子、二村明德、杉本あず、 矢野怜、金野竜太、村上秀友、小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病における脳小血管病と脳脊髄液循環障 害の関連について
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大湾喜行、刑部祐友子、高橋聖也、黒川信二、金野竜太、馬場康彦、村上秀友、小野賢二郎
2. 発表標題 パーキンソン病の運動症状と重心動揺計の計測結果との関連について
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 二村明德、森友紀子、四郎丸あずさ、黒田岳志、笠井英世、矢野 怜、稗田宗太郎、小 野賢二郎
2. 発表標題 AD と DLB の海馬萎縮の違い：臨床・画像の検討
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村篤史、金野竜太、二村明德、野元祥平、久保田怜美、森友紀子、杉本あずさ、黒田岳史、矢野怜、村上秀友、小野賢二郎
2. 発表標題 Effects of vitamin B12 on memory function in elderly patients
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小菅将太、黒田岳志、小口達敬、二村明德、小野賢二郎
2. 発表標題 Trousseau 症候群に伴う脳梗塞における直接経口抗凝固薬の有用性についての検討
3. 学会等名 第60回日本神経学会 学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石田敦士、小菅将太、浅野未希、大橋英朗、森友紀子、笠井英世、稗田宗太郎、小野賢二郎
2. 発表標題 脳梗塞を契機に発見された成人単純型大動脈縮窄症の1例
3. 学会等名 第229回日本神経学会関東・甲信越地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤井隆史、栗城綾子、加藤悠太、和田隆秀、福田早織、小室浩康、宮内淑史、神谷雄己、水間啓太、小野賢二郎
2. 発表標題 生体弁弁輪部膿瘍を合併した脳膿瘍の一例
3. 学会等名 第229回日本神経学会関東・甲信越地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 栗城綾子、神谷雄己、藤井隆史、福田早織、井藤尚仁、小室浩康、水間啓太、宮内淑史、小野賢二郎
2. 発表標題 大動脈粥腫の長期観察における経時的変化：可動性粥腫と粥腫厚、潰瘍 長の関連
3. 学会等名 第38回日本脳神経超音波学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 水間啓太、栗城綾子、福田早織、藤井隆史、小室浩康、井藤尚仁、宮内淑史、神谷雄己、小野賢二郎
2. 発表標題 大動脈可動性巨大病変が抗凝固療法により消失した急性期脳梗塞の 53 歳女性例
3. 学会等名 第38回日本脳神経超音波学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大湾喜行、高橋聖也、刑部祐友子、黒川信二、金野竜太、小野賢二郎、馬場康彦
2. 発表標題 パーキンソン病患者における MIBG 心筋シンチグラフィと左室拡張能との関連
3. 学会等名 第13回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病発症機序解明の現状と先制医療の展望
3. 学会等名 第10回日本脳血管・認知症学会総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森友紀子、石田敦士、浅野未希、栄良樹、齋藤悠、黒田岳志、稗田宗太郎、小野賢 二郎
2. 発表標題 二ボルマブに誘発された筋炎の 70 歳男性例
3. 学会等名 第230回日本神経学会関東・甲信越地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和田隆秀、宮内淑史、加藤悠太、藤井隆史、福田早織、小室浩康、栗城綾子、神谷雄己、小野賢二郎
2. 発表標題 中咽頭癌の経過中に発症した A 群溶血性連鎖球菌性髄膜炎の一例
3. 学会等名 第230回日本神経学会関東・甲信越地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飯塚奈都子、政岡ゆり、井田正博、眞鍋亮、吉田正樹、吉川輝、小岩信義、久保田怜美、本間元康、小野賢二郎、泉崎雅彦
2. 発表標題 慢性閉塞性肺疾患患者における海馬サブ領域体積の測定
3. 学会等名 第47回日本磁気共鳴医学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和田隆秀、宮内淑史、加藤悠太、藤井隆史、福田早織、小室浩康、栗城綾子、神谷雄己、小野賢二郎
2. 発表標題 中咽頭癌の経過中に発症した A 群溶血性連鎖球菌性髄膜炎の一例
3. 学会等名 第24回日本神経感染症学会総会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 フェノール化合物に焦点を当てたアルツハイマー病に対する疾患就職 へのアプローチ
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田早織、栗城綾子、水間啓太、三木綾子、和田隆秀、加藤悠太、藤井隆史、小室浩康、宮内淑史、神谷雄己、小野賢二郎
2. 発表標題 高位内頸動脈の不安定プラークに対して経口腔頸 部血管超音波検査での経時的変化を観察した 57 歳男性例
3. 学会等名 第22回日本栓子検出と 治療学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー病：疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第24回日本神経精神医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 二村明德、小山慎一、大橋英朗、三木綾子、小口達敬、小野賢二郎
2. 発表標題 右脳静脈洞塞栓 後の顔中心部の相貌変形視例
3. 学会等名 第24回日本神経精神医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 シヌクレイノパチーの病態に基づいた疾患修飾へのアプローチ
3. 学会等名 第37回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 稗田宗太郎、森 友紀子、二村明德、杉本あずさ、笠井英世、黒田岳志、矢野怜、小野賢二郎
2. 発表標題 もの忘れ外来における超高齢初診患者の傾向と神経原線維型老年期認知症 の可能性
3. 学会等名 第37回日本神経治療学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症 疾患修飾へのアプローチを考える
3. 学会等名 第38回日本認知症学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 稗田宗太郎、森 友紀子、二村明德、杉本あずさ、笠井英世、黒田岳志、矢野怜、小野賢二郎
2. 発表標題 もの忘れ外来における超高齢初診患者の傾向と神経原線維型老年期認知症 の可能性
3. 学会等名 第38回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野元祥平、金野竜太、森友紀子、二村明德、杉本あずさ、黒田岳志、矢野怜、村上秀友、落合裕隆、小風暁、小野賢二郎
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症，軽度認知障害における甲状腺機能と脳血流量の関連の検討
3. 学会等名 第38回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保田怜美、政岡ゆり、飯塚奈都子、眞鍋亮、吉川輝、吉田正樹、金野竜太、井田正博、小野賢二郎、泉崎雅彦
2. 発表標題 高齢者における脳局所体積と認知機能・嗅覚機能
3. 学会等名 第38回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安本太郎、高村雄策、辻まゆみ、中山隆、今村恵子、井上治久、中村史朗、井上富雄、木村篤史、矢野怜、西条寿夫、木内祐二、デービッド・テプロフ、小野賢二郎
2. 発表標題 高分子A オリゴマーは細胞膜傷害を介して神経細胞毒性を発揮する
3. 学会等名 第38回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森友紀子、宮之原麻衣、二村明德、杉本あずさ、笠井英世、黒田岳志、矢野怜、稗田宗太郎、小野賢二郎
2. 発表標題 ボランティア活動は認知症患者の社会参加の機会となり 得るか
3. 学会等名 第38回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加藤悠太、栗城綾子、福田早織、和田隆秀、藤井隆史、小室浩康、田中健一郎、宮内淑史、神谷雄己、小野賢二郎
2. 発表標題 嚔下障害を伴った AICA 症候群の 65 歳男性例
3. 学会等名 第231回日本神経学会関東・甲信越地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井藤尚仁、笠井英世、柿沼佑樹、高見礼示、栄良樹、杉本あずさ、稗田宗太郎、小野賢二郎
2. 発表標題 Lacosamide が奏功した発作性運動誘発性舞蹈アテトーシスの 24 歳女性 例
3. 学会等名 第231回日本神経学会関東・甲信越地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野賢二郎
2. 発表標題 認知症に挑む
3. 学会等名 日本情動学会第9回大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笠井英世、政岡ゆり、小野賢二郎、泉崎雅彦、本間生夫
2. 発表標題 片頭痛患者における痛み刺激による不安呼吸関連電位とその電源推定
3. 学会等名 第9回日本情動学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉本あずさ、水間啓太、正路大樹、門馬佑太郎、所澤任修、稗田宗太郎、小野賢二郎
2. 発表標題 淡蒼球性認知症 睡眠時無呼吸症候群を背景とした 1 例と文献レビュー
3. 学会等名 第9回日本情動学会大会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計17件

1. 著者名 小野賢二郎	4. 発行年 2023年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 2208
3. 書名 今日の治療指針 2023年版	

1. 著者名 坂下泰浩、小野賢二郎	4. 発行年 2023年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 340
3. 書名 Annual Review 神経 2023	

1. 著者名 篠原もえ子、小野賢二郎	4. 発行年 2023年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 620
3. 書名 今日の臨床検査2023-2024	

1. 著者名 杉本あずさ、小野賢二郎	4. 発行年 2023年
2. 出版社 じほう	5. 総ページ数 520
3. 書名 神経診療がわかる現場の教科書 診るロジックと薬の使い方	

1. 著者名 稗田宗太郎、小野賢二郎	4. 発行年 2023年
2. 出版社 じほう	5. 総ページ数 520
3. 書名 神経診療がわかる現場の教科書 診るロジックと薬の使い方	

1. 著者名 中野博人、小野賢二郎	4. 発行年 2024年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 300
3. 書名 Annual Review 神経 2024	

1. 著者名 小野賢二郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 380
3. 書名 脳神経疾患 最新の治療 2021-2023	

1. 著者名 小野賢二郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 368
3. 書名 Annual Review 神経 2021版	

1. 著者名 稗田宗太郎, 小野賢二郎	4. 発行年 2022年
2. 出版社 じほう	5. 総ページ数 -
3. 書名 神経疾患を診るロジックと薬の使い方	

1. 著者名 杉本あずさ, 小野賢二郎	4. 発行年 2022年
2. 出版社 じほう	5. 総ページ数 -
3. 書名 神経疾患を診るロジックと薬の使い方	

1. 著者名 小野賢二郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 440
3. 書名 認知症診療実践ハンドブック改訂2版	

1. 著者名 小野賢二郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 2114
3. 書名 今日の診断指針 デスク判 第8版	

1. 著者名 小野賢二郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 2000
3. 書名 今日の治療指針 2021年版 [デスク判]	

1. 著者名 小野賢二郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 380
3. 書名 脳神経疾患最新の治療2021-2023	

1. 著者名 小野賢二郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 368
3. 書名 Annual Review 神経2021	

1. 著者名 久保田怜美、金野竜太、黒田岳志、稗田宗太郎、矢野 怜、森友紀子、二村明德、兼元みずき、杉本あずさ、小野賢二郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 フジメディカル出版	5. 総ページ数 100
3. 書名 レビー小体型認知症診療ハンドブック	

1. 著者名 二村明德、小野賢二郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 264
3. 書名 実践高次脳機能障害のみかた	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	辻 まゆみ (Tsuji Mayumi) (40155544)	昭和大学・医学部・教授 (32622)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------